

2020年度 授業計画（シラバス）

授業科目	小児系疾病 治療論	分野	専門分野Ⅱ	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	小児疾患の病態・症状・治療・検査を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	新生児の疾患	分娩損傷、適応障害、低出生時の疾患、染色体異常、先天異常			講義	非常勤講師			
2	代謝性疾患と内分泌疾患	代謝性疾患 下垂体、甲状腺および副甲状腺、副腎疾患			講義				
3	免疫疾患・アレルギー性疾患・リウマチ性疾患	アレルギー性疾患、原発性免疫不全症、リウマチ性疾患			講義				
4	感染症	ウイルス感染症、細菌感染症、真菌感染症			講義				
5	呼吸器疾患	喘息、上気道の疾患、気管支・肺・胸膜疾患			講義				
6	循環器疾患	先天性心疾患、川崎病			講義				
7	消化器疾患	口腔疾患、食道・胃・十二指腸・大腸の疾患、腹膜の疾患、肝臓・胆道の疾患、急性乳用児下痢症、急性胃腸炎			講義				
8	血液・造血器疾患	貧血、出血性疾患、好中球の量的質的異常			講義				
9	悪性新生物	造血器腫瘍、脳腫瘍			講義				
10	腎・泌尿器および生殖器疾患	糸球体疾患、急性・慢性腎疾患 生殖器・外生殖器疾患			講義				
11	神経疾患	けいれん性疾患、急性神経疾患、筋疾患			講義				
12	運動器疾患、皮膚疾患、眼疾患	先天性股関節脱臼、骨折 湿疹・皮膚炎群 屈曲異常、斜視			講義				
13	耳鼻咽喉疾患と精神疾患	耳・鼻・咽頭・喉頭の疾患			講義				
14	事故と外傷	不慮の事故総論 誤飲・誤嚥、熱傷、熱中症			講義				
15	定期試験(90分)								
教科書、参考書等		系統看護学講座 小児臨床看護各論, 医学書院, 2019.							
評価方法		定期試験で評価する。							
履修上の注意点		限られた講義の中で、専門的な用語、疾患、検査・治療などを学びます。わからない内容は積極的に質問しましょう。							

2020年度 授業計画（シラバス）

授業科目	小児健康障害看護論	分野	専門分野Ⅱ	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	健康障害が子どもや家族に及ぼす影響と障害に応じた看護を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	病気や診療・入院が子どもと家族に与える影響と看護	科目全体の概要説明 病気に対する子どもの理解の特徴			講義	本校教員			
2		病気や診療・入院が子どもやきょうだい・家族に与える影響と看護の方向性			講義				
3	感染症と隔離／活動制限が必要な子どもと家族への看護	小児期特有な感染症の特徴、観察ポイント、隔離と隔離された子どもへの援助			講義				
4	外来における子どもと家族への看護	子どもを対象とする外来の特徴と看護の役割			講義				
5	子どもにおける疾病の経過と看護	子どものアセスメント			講義				
6		急性的な経過をたどる疾患を抱える子どもの、特徴的な症状とその観察・症状緩和に対する援助 (痛み・発熱・下痢と嘔吐・脱水・便秘・呼吸困難・けいれん)			講義				
7					講義				
8	周手術期における子どもと家族への看護	子どもの手術の特徴、病態、治療、予後、子どもと家族への援助			講義				
9	慢性的な疾患・障がいのある子どもと家族への看護	慢性疾患・障がい・心身障害を抱える子どもの継続的な援助			講義				
10	終末期にある子どもと家族への看護	代表的な疾患とその特徴、病態、治療法、治療により生じる影響、予後、子どもと家族への援助			講義 VTR視聴				
11	出生直後から集中治療が必要な子どもと家族への看護	ハイリスク新生児の特徴 集中ケアにおける援助 親子・家族関係確立への支援			講義	非常勤講師			
12	子どもと家族へのプレパレーション	心理的混乱に対する心の準備 プレパレーションの流れ			講義 グループ発表	非常勤講師			
13	特別な状況にある子どもと家族への看護	虐待を受けている子どもと家族への看護、災害を受けた子どもと家族への看護			講義	本校教員			
14	救命救急処置が必要な子どもと家族への看護	子どもの事故の特徴と処置（誤飲・熱傷・救急処置）			講義				
15	定期試験（90分）	筆記試験				本校教員 非常勤講師			
教科書、参考書等	系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論，医学書院，2019. ※参考図書は講義時に提示する。								
評価方法	定期試験(85%)、課題レポート(15%)により総合的に評価する。								
履修上の注意点	本科目は「小児疾病治療論」の授業内容と並行して学習が進むため、子どもの解剖生理、疾患の病態生理、治療などの予習・復習をして授業に臨んでください。また、「対症看護」の授業で取り上げられなかった症状についても各自で学修をすすめていることを前提としてすすめていきます。授業の理解度によっては、講義の内容や順番が変更になる場合があります。								

2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	小児診療 補助技術	分野	専門分野Ⅱ	単位数	1	時間数	15	開講	後期
科目目標	診察・検査・処置を受ける子どもと家族への看護を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員 (講師)			
1	検査・処置を受ける 子どもと家族の看護 総論	検査・処置を受ける子どもと家族			講義	本校教員			
2	診察と観察	診察介助、身体各部の測定、 バイタルサイン、経管栄養			講義・演習				
3					講義・演習				
4	子どもの薬物療法と 看護	静脈内注射、輸液、経口与薬、吸入 座薬、浣腸			講義・演習				
5					講義・演習				
6	こどもの検体採取	検体採取 穿刺 (骨髄・腰椎)、採血			講義・演習	非常勤講師			
7	こどもの救命処置	心肺蘇生 (一次救命処置) 吸引			講義・演習				
8	定期試験 (60分)					本校教員 非常勤講師			
教科書、参考書等		系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論, 医学書院, 2019. 系統看護学講座 小児臨床看護各論, 医学書院, 2019.							
評価方法		定期試験、演習、GW参加、課題レポートにより総合的に評価する。							
履修上の注意点		既習の小児看護学は復習して臨む。課題は学習の上授業に参加する。							

2020年度 授業計画（シラバス）

授業科目	周産期生理・異常論	分野	専門分野Ⅱ	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	妊娠・分娩・産褥・新生児の生理的变化と、異常な経過について理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	妊娠期における看護	妊娠の生理 胎児の発育とその生理			講義	非常勤講師			
2	妊婦と胎児の経過の診断とアセスメント	妊娠と診断 妊娠期に行う検査 胎児の発育と健康状態の診断			講義				
3	分娩期における看護	分娩の経過 産婦と胎児の健康状態			講義				
4	新生児期および産褥期における看護	新生児の評価 新生児の健康状態			講義				
5	妊娠・分娩・新生児・産褥の異常	ハイリスク妊婦、妊娠疾患、 妊娠持続期間の異常、子宮外妊娠			講義				
6		産道の異常 娩出力の異常 胎児の異常による分娩障害 胎児の付属物の異常 分娩時の異常 産科処置と産科手術			講義				
7									
8									
9									
10	新生児の異常	新生児仮死 分娩外傷 低出生体重児 高ビリルビン血症			講義				
11									
12	産褥の異常と看護	子宮復古不全、産褥期の発熱、 産褥血栓症、精神障害			講義				
13		感染症の褥婦 乳房トラブル 児を亡くした褥婦と家族			講義				
14		不安症/不安障害、強迫症/強迫性障害、 統合失調症、抑うつ障害、摂食障害、 産後うつ病、産褥精神病			講義				
15	定期試験(90分)								
教科書、参考書等		系統看護学講座 母性看護学各論, 医学書院, 2019.							
評価方法		定期試験で評価する。							
履修上の注意点		マタニティサイクル各期における正常および異常な経過について学習します。健康状態のアセスメントに必要な情報とアセスメントの視点を理解しましょう。							

2020年度 授業計画 (シラバス)

授業科目	母性健康支援論	分野	専門分野Ⅱ	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	正常経過にある妊婦・産婦・褥婦・新生児の看護と保健指導の基本的知識を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員 (講師)			
1	妊婦の看護と保健指導	妊娠による母体の変化 妊婦の健康管理 妊婦と家族への看護 妊婦への保健指導 妊婦体験			講義 体験学習 グループワーク	本校教員			
2									
3									
4									
5									
6	異常な経過にある妊婦の看護	切迫流産・切迫早産の妊婦への看護 妊娠高血圧症候群などの妊婦への看護			講義				
7	産婦・褥婦の看護と保健指導	分娩時の母体の変化 分娩各期における産婦の看護・保健指導 分娩後の観察と看護			講義 VTR視聴				
8									
9									
10									
11	異常な経過にある産婦の看護	異常出血・異常分娩時の産婦への看護 胎児機能不全の状態にある産婦の看護 胎児心拍陣痛図 (NST・CTG) の判読			講義				
12									
13	異常な経過にある褥婦の看護	子宮復古不全の状態にある褥婦の看護 母乳分泌異常の状態にある褥婦の看護			講義				
14	周産期医療のシステムと母子保健施策	周産期医療のシステム 母子保健に関連する法律 子育て支援・DV防止などの施策			講義				
15	定期試験 (90分)								
教科書、参考書等		系統看護学講座 母性看護学各論, 医学書院, 2019. 系統看護学講座 母性看護学概論, 医学書院, 2019. 看護実践のための根拠がわかる母性看護技術, メヂカルフレンド社, 2020.							
評価方法		定期試験 (85%)、課題レポート (15%) により総合的に評価する。							
履修上の注意点		妊娠・分娩・産褥期の観察・アセスメントと看護を学びます。母性看護学実習では産褥入院中の母子を受け持ちます。個別性に応じた観察・看護ができるよう、しっかりと知識を習得すること。							

2020年度 授業計画（シラバス）

授業科目	周産期看護技術	分野	専門分野Ⅱ	単位数	1	時間数	15	開講	前期				
科目目標	周産期にある母子に対する看護の基本的知識・技術を習得する。												
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）							
1	母性の看護技術	妊婦への看護技術 （レオポルド触診法、子宮底長・腹囲の測定、浮腫の観察 診察介助法、間欠的胎児心拍数聴取、胎児心拍数陣痛図（NST・CTG）など）			講義 校内実習 DVD視聴	本校教員							
2		褥婦への看護技術 （子宮底高の測定・観察、 外陰部・肛門部・悪露の観察、 胎盤計測、 乳房・乳頭の観察、帝王切開後の観察、産後うつ・家族計画など）											
3													
4		新生児への看護 （新生児とは 出生直後の観察・計測・看護）											
5	新生児の健康と発育 のアセスメント・ 看護技術	新生児の観察と看護 （沐浴・おむつ交換など） 生理的体重減少 生理的黄疸 原始反射・成熟徴候 新生児の検査（スクリーニング検査）			講義 校内実習								
6													
7	新生児の健康問題に対する看護	先天異常 新生児の呼吸障害（新生児一過性多呼吸・呼吸窮迫症候群・胎便吸引症候群） 高ビリルビン血症 ビタミンK欠乏症 低出生体重児・新生児仮死			講義								
8	定期試験(60分)												
教科書、参考書等		系統看護学講座 母性看護学各論, 医学書院, 2019. 系統看護学講座 母性看護学概論, 医学書院, 2019. 看護実践のための根拠がわかる母性看護技術, メヂカルフレンド社, 2020.											
評価方法		定期試験、校内実習の参加等を総合的に評価する。											
履修上の注意点		実習で実施する重要な看護技術および学習すべき知識を学びます。 根拠に基づいた技術の習得を目指しましょう。											

2020年度 授業計画（シラバス）

授業科目	精神・神経系疾病治療論	分野	専門分野Ⅱ	単位数	1	時間数	15	開講	前期
科目目標	精神疾患の病態・治療・検査を学ぶ。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	精神科で出会う人々	日本の精神医療の現状 精神障害の診断と分類			講義	非常勤講師			
2	主な精神疾患と障害 の特徴	統合失調症			講義				
3		気分（感情）障害 うつの3大症状と診断基準 躁状態の諸症状			講義				
4		神経症性障害、ストレス関連障害、 身体表現性障害			講義				
5		生理的障害および身体的要因に関連した 行動症候群 摂食障害			講義				
6		器質性精神障害 認知症・症状精神病			講義				
7		精神作用物質使用による精神・行動の障害 アルコール症			講義				
8		定期試験(60分)							
教科書、参考書等		系統看護学講座 精神看護の基礎, 医学書院, 2019.							
評価方法		定期試験で評価する。							
履修上の注意点									

2020年度 授業計画（シラバス）

授業科目	こころの健康支援論	分野	専門分野Ⅱ	単位数	1	時間数	30	開講	前期
科目目標	こころの健康問題・心理社会的反応に対する対応方法を理解する。								
回	主題	授業内容			授業方法	担当教員（講師）			
1	関係の中の人間	全体としての家族			講義	非常勤講師			
2	関係の中の人間	クライアントとしての家族			講義				
3	関係の中の人間	人間と集団 グループのダイナミクス			講義				
4	関係の中の人間	人間と集団 グループのダイナミクス			講義、DVD				
5	ケアの人間関係	ケアの前提 ケアの原則			講義				
6	ケアの人間関係	ケアの原則 ケアの方法 コミュニケーション技術			講義、演習				
7	ケアの人間関係	プロセスレコードとは			講義、演習				
8	ケアの人間関係	プロセスレコードとは			講義				
9	ケアの人間関係	患者－看護師関係 信頼関係の大切さ 患者－看護師関係成立のための援助技術			講義				
10	ケアの人間関係	患者－看護師関係 看護理論			講義				
11	リエゾン精神看護	身体疾患をもつ患者の精神保健			講義				
12	看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス	看護という職業			講義				
13	看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス	看護師の不安と防衛 感情労働としての看護			講義				
14	看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス	看護師の感情ワーク 感情労働の代償と社会 レジリエンスを高める			講義				
15	定期試験(90分)								
教科書、参考書等	系統看護学講座 精神看護の基礎, 医学書院, 2019. 系統看護学講座 看護の展開, 医学書院, 2019. 国民衛生の動向 2019/2020, 厚生労働統計協会, 2019. 看護実践のための根拠がわかる精神看護技術, メヂカルフレンド社, 2019.								
評価方法	定期試験（80%）、課題レポート(20%)により総合的に評価する。								
履修上の注意点									

2020年度 授業計画（シラバス）

授業科目	こころの障害 看護論	分野	専門分野Ⅱ	単位数	1単位	時間数	30時間	開講		後期	
科目目標	こころの健康障害をもつ人の看護の方法を学ぶ。										
回	主題	授業内容				授業方法	担当教員（講師）				
1	入院治療と看護の 展開	1) 治療的環境をつくる 2) 安全を守る				講義	非常勤講師				
2		3) リスクマネジメント				講義					
3		5) 回復を助ける 精神科におけるリハビリテーション 社会生活技能訓練（SST）				講義					
4	精神科看護における 身体ケアの方法	1) 服薬治療に関わる看護 2) 電気けいれん療法の看護				講義					
5		3) 身体合併症に関する援助 4) 患者の回復段階ごとの身体的援助				講義					
6		5) 睡眠の援助 6) 自傷行為や身体症状を訴える患者の援助				講義					
7	精神障害をもつ人の 看護の実際	1) 入院治療の意味を理解する 2) 患者のアセスメント				講義	非常勤講師				
8		3) 精神症状と看護 ・思考・感情・意欲・知覚の障害 ・意識・記憶とその障害				講義					
9	入院治療と看護の 展開	4) 緊急事態に対処する 自殺・暴力・無断離院				講義					
10	精神障害をもつ人の 看護の実際	4) 疾患と看護				講義 演習	非常勤講師				
11		①統合失調症（急性期）（慢性期）									
12		②気分障害（うつ）、気分障害（そう）									
13		③不安障害・適応障害・摂食障害 ④パーソナリティ障害・アルコール症 ⑤認知症									
14	地域における精神看護	障害者の雇用の促進等に関する法律 就労支援事業について				講義	非常勤講師				
15	定期試験(90分)						非常勤講師				
教科書、参考書等	系統看護学講座 精神看護の基礎, 医学書院, 2019. 系統看護学講座 看護の展開, 医学書院, 2019. 国民衛生の動向 2019/2020, 厚生労働統計協会, 2019. 看護実践のための根拠がわかる精神看護技術, メデカルフレンド社, 2019.										
評価方法	定期試験で評価する。										
履修上の注意点											